

短資取引約定確認システム

外部入出力の手引き

短 資 協 会

短資取引約定確認システム管理本部

—— 目 次 ——

外部入出力処理対象	1
指定媒体入出力処理	1
F T P 入出力処理	2
入出力ファイル形式	6
ファイル形式	6
コード表及び区分	1 3
ファイル例	1 7
制限事項	2 4

外部入出力処理対象

指定媒体入出力処理

ご用意いただくもの

外部システムとのデータ受渡しを行う場合は、USBメモリ、FD等の外部メディアをご用意ください。

事前準備

入出力先として使用する任意のフォルダを自端末内に作成してください。
(外部メディアを入出力先として使用する場合は端末に接続してください。)

操作処理手順

(図1. 接続手順)

- ① 「メインメニュー」(オンライン処理中に利用する場合)又は、「メンテナンスメニュー」(オンライン終了後に利用する場合)のメニューバー {外部入出力} をクリックしてプルダウンメニューを表示してください。
- ② プルダウンメニュー内の {外部入出力} をクリックします。この操作により「外部入出力画面」が開きます。
- ③ 「外部入出力画面」において各パラメータを設定します。

例：

D:\¥約定確認データ¥DT000001.CSV に全てのデータを出力する場合

処理区分：出力
処理対象先：フォルダ指定
対象データ：約定確認データ
データ区分：全件

D:\¥約定確認データ¥DT000002.CSV から全てのデータを入力する場合

処理区分：入力
処理対象先：フォルダ指定
対象データ：約定確認データ
データ区分：全件

- ④ {実行ボタン (R)} をクリックします。処理区分が入力の場合は「ファイルを開く」画面が、処理区分が出力の場合は「名前をつけて保存」画面が表示されます。
- ⑤ 処理区分が出力の場合は、保存先・ファイル名・ファイルの種類を指定して {保存 (S)} ボタンをクリックします。処理区分が入力の場合は、ファイルの場所・ファイル名・ファイルの種類を指定して {開く (O)} をクリックします。

この操作により入出力処理が実行されます。

例：

D:\¥約定確認データ¥DT000001.CSV に全てのデータを出力する場合

ファイルの場所：約定確認データ
ファイル名：DT000001.CSV
ファイルの種類：CSV (カンマ区切り) (*.csv)

D:\¥約定確認データ¥DT000002.CSV から全てのデータを入力する場合

保存先：約定確認データ
ファイル名：DT000002.CSV
ファイルの種類：CSV (カンマ区切り) (*.csv)

FTP入出力処理

ご用意いただくもの

FTP サーバ：

短資取引約定確認システムとのファイル入出力を行うためのサーバをご用意ください。

ハブ：ルータとFTPサーバ間で必要としないケースもあります。

ルータとFTPサーバを接続します。

事前準備

(図2.接続例)

短資取引約定確認システム側で接続テスト済みのルータをご用意させていただきます。この時、短資取引約定確認システムとのファイル入出力を行うため、FTPサーバにネットワーク関連の設定、FTPフォルダー及びセキュリティ関連の設定をお願いします。また、約定確認システムからはコンピュータ名ではなくIPアドレスによる接続を行いますので固定のIPアドレスでの設定をお願いします。

操作処理手順

(図1. 接続手順)

- ①「メインメニュー」(オンライン処理中に利用する場合)又は、「メンテナンスメニュー」(オンライン終了後に利用する場合)のメニューバー {外部入出力} をクリックしてプルダウンメニューを表示してください。
- ②プルダウンメニュー内の {外部入出力} をクリックします。この操作により 「外部入出力画面」が開きます。
- ③「外部入出力画面」において各パラメータを設定します。

例：

FTP://111.1.1.1/DATA/DT000001.CSV に全てのデータを出力する場合 (FTPサーバ ID:bank パスワード:0000)

処理区分：出力
処理対象先：FTP
対象データ：約定確認データ
データ区分：全件
ファイル名：DT000001.CSV

FTP://111.1.1.1/DATA/DT000002.CSV から全てのデータを入力する場合 (FTPサーバ ID:bank パスワード:0000)

処理区分：入力
処理対象先：FTP
対象データ：約定確認データ
データ区分：全件
ファイル名：DT000002.CSV

- ④ {実行ボタン (R)} をクリックします。この操作により「FTPログイン」画面が表示されます。
⑤ 「FTP ログイン」画面において各パラメータを設定します。

例：
FTP://111.1.1.1/DATA/DT000001.CSV に全てのデータを出力する場合 (FTPサーバ ID:bank パスワード:0000)

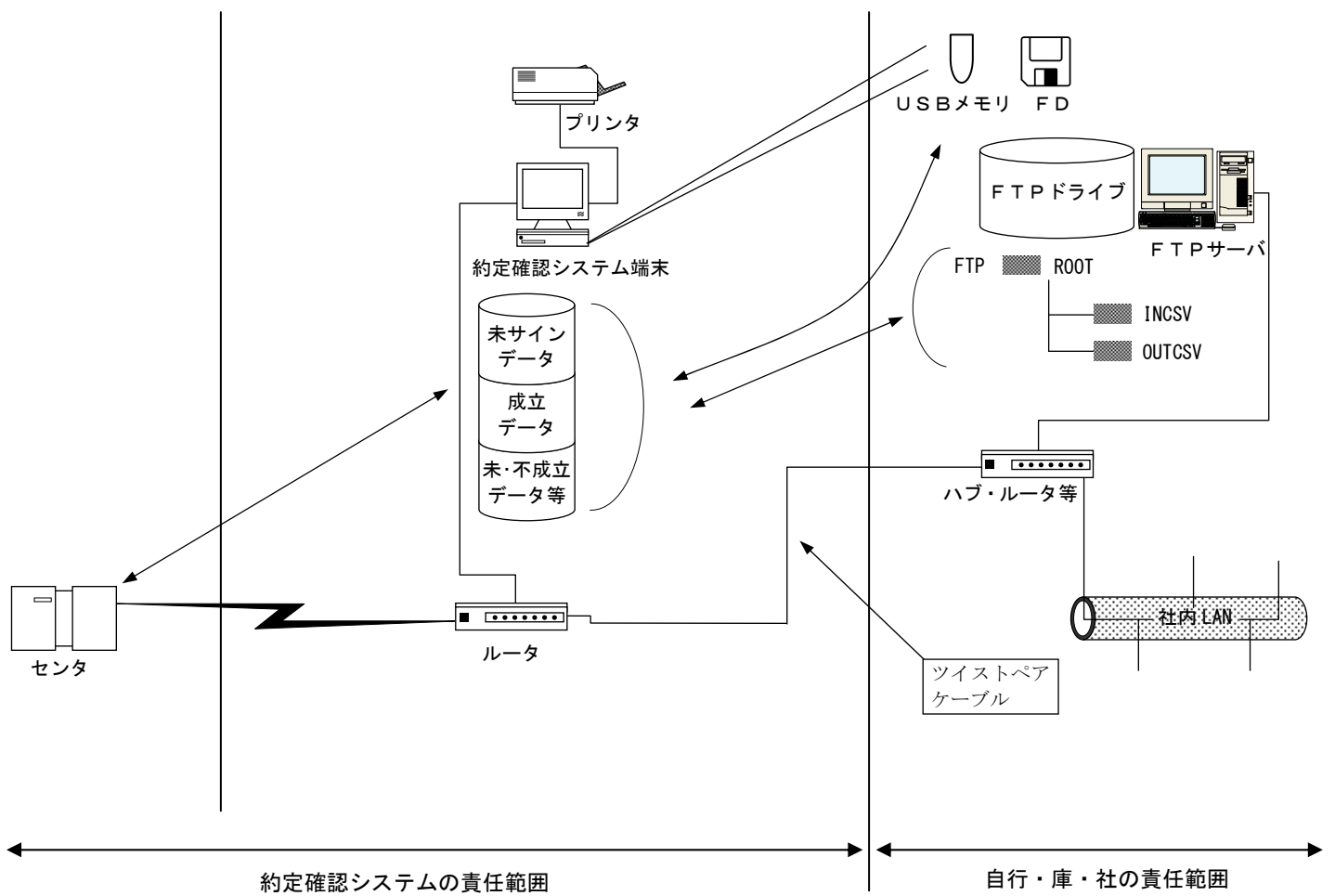
IPアドレス:111.1.1.1
ログインID:bank
パスワード:0000 (****と表示されます)
接続ディレクトリ:DATA
ファイル名:DT000001.CSV (表示のみでここでは変更できません)

FTP://111.1.1.1/DATA/DT000002.CSV から全てのデータを入力する場合 (FTPサーバ ID:bank パスワード:0000)

IPアドレス:111.1.1.1
ログインID:bank
パスワード:0000 (****と表示されます)
接続ディレクトリ:DATA
ファイル名:DT000002.CSV (表示のみでここでは変更できません)

- ⑥ {接続 (C)} ボタンをクリックします。この操作により自社のFTPサーバに接続しファイルの入出力を行います。

図2. 接続例



入出力ファイル形式

ファイル形式

ファイル名

ファイル名は以下の形式とします。
半角英数字(8桁以内)+(ピリオド)+拡張子(3桁)

例：DT000101.CSV

この時、全て大文字としてください。また、小文字で登録された場合でも約定確認システムの端末は全て大文字として扱います。

約定確認システムの端末が FTP にデータファイルを書き込む際に拡張子が指定されなかった場合は、拡張子(CSV)を自動的に付加します。

データ形式

約定確認システムの端末は次項の入出力フォーマットに従ったデータ項目を CSV 形式で処理します。この時の扱えるコード形式は、ASCII・シフト JIS 形式のみです。その他のコードの場合にはあらかじめ自行・庫・システム内で変換を行ってください。

約定確認システムの CSV レコード形式は1フィールド毎に区切り記号であるカンマ(,) 挿入し改行までを1レコードとして扱います。この時、テキストタイプの文字列はダブルコーテーション(“) で囲み、セット項目の無い場合には区切り記号(,) の間に何も記述せず処理します。

下記の表に扱える文字とデータタイプを記載しますのでご利用ください。

表1 入出力時のデータタイプの取扱

項目属性		制限・桁数		備考
数値型	半角		(注1)	0 ~ 9
テキスト型	半角 全角	可変長 最大255バイト ダブルコーテーション(“) で囲む		“AAAA” “あああああ”
日付・時刻型	日付型(日付)	半角	YYYY/MM/DD 形式	10桁 2008/01/01
	日付型(時刻)	半角	HH:MM 形式または HH:MM:SS 形式	5桁 または 8桁 12:10 または 12:10:00

(注1) 次項の入出力フォーマットに桁数を記載

表2 英数記号使用可能文字

項目属性	システム属性		文字種別	文字
英数字	文字列	半角	数字	0123456789
			英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
			記号	., () - / % * & SP(スペース)

ファイルフォーマット

表3 入出力ファイルフォーマット（約定確認データ）

No.	項目名	属性	桁数	バイト数	備 考
1	データ区分	数値型	1	1	
2	受付番号	数値型	5	5	
3	取引科目コード	数値型	3	3	
4	短資取扱整理番号	テキスト型	10	10	
5	取扱短資取引先コード	テキスト型	10	10	
6	取扱短資取引先名称	テキスト型	10	20	
7	備考コード	数値型	1	1	
8	約定日	日付型(日付)	10	10	
9	先日付区分コード	数値型	1	1	
10	取引種類区分コード	テキスト型	2	2	
11	スタート日	日付型(日付)	10	10	
12	エンド日	日付型(日付)	10	10	日中コールの場合、スタート日を設定する。
13	日数	数値型	3	3	日中コールの場合、0固定
14	実行決済時間	日付型(時刻)	5	5	
15	期落決済時間	日付型(時刻)	5	5	
16	M/L区分	数値型	1	1	1：マネー(出し手) 2：ローン(取り手)
17	約定金額	数値型	7	7	単位：百万円
18	(内部使用)	数値型	1	1	
19	サイン区分(相手)	数値型	1	1	
20	取引先コード(相手)	テキスト型	10	10	
21	取引先名称(相手)	テキスト型	10	20	
22	勘定口(相手)	テキスト型	4	4	
23	利率(相手)	数値型	7	8	小数点付(浮動小数点型) 0固定
24	利息金額(相手)	数値型	10	10	0固定
25	元利合計額(相手)	数値型	13	13	0固定
26	手数料率(相手)	数値型	7	8	小数点付(浮動小数点型) 0固定
27	手数料額(相手)	数値型	10	10	0固定
28	割引率(相手)	数値型	2	2	0固定
29	割引額(相手)	数値型	10	10	0固定
30	割引後手数料額(相手)	数値型	10	10	0固定
31	消費税額等(相手)	数値型	10	10	0固定
32	(内部使用)	数値型	1	1	
33	サイン区分(自社)	数値型	1	1	0：未サイン 1：OK 2：NG
34	取引先コード(自社)	テキスト型	10	10	
35	取引先名称(自社)	テキスト型	10	20	
36	勘定口(自社)	テキスト型	4	4	
37	利率(自社)	数値型	7	8	小数点付(浮動小数点型)
38	利息金額(自社)	数値型	10	10	
39	元利合計額(自社)	数値型	13	13	
40	手数料率(自社)	数値型	7	8	小数点付(浮動小数点型)
41	手数料額(自社)	数値型	10	10	
42	割引率(自社)	数値型	2	2	
43	割引額(自社)	数値型	10	10	
44	割引後手数料額(自社)	数値型	10	10	
45	消費税額等(自社)	数値型	10	10	
46	取組時一受入先情報区分	数値型	1	1	(注)
47	取組時一受入先日銀口座コード	テキスト型	7	7	(注)
48	取組時一受入先日銀口座名称	テキスト型	15	30	(注)
49	取組時一払出先情報区分	数値型	1	1	(注)
50	取組時一払出先日銀口座コード	テキスト型	7	7	(注)
51	取組時一払出先日銀口座名称	テキスト型	15	30	(注)
52	返済時一受入先情報区分	数値型	1	1	(注)
53	返済時一受入先日銀口座コード	テキスト型	7	7	(注)
54	返済時一受入先日銀口座名称	テキスト型	15	30	(注)
55	返済時一払出先情報区分	数値型	1	1	(注)
56	返済時一払出先日銀口座コード	テキスト型	7	7	(注)
57	返済時一払出先日銀口座名称	テキスト型	15	30	(注)
58	約定確認時刻	日付型(時刻)	5	5	
59	日銀決済口座区分(スタート時)	数値型	1	1	
60	日銀決済口座区分(エンド時)	数値型	1	1	
61	手形発行区分	数値型	1	1	日中コールの場合、2固定
62	取組時一受入先店舗名	テキスト型	15	15	(注)
63	取組時一受入先預金種別	テキスト型	1	1	(注)
64	取組時一受入先預金口座番号	テキスト型	7	7	(注)
65	取組時一受入先預金者名	テキスト型	40	40	(注)

No.	項目名	属性	桁数	バイト数	備 考
66	取組時－払出先店舗名	テキスト型	15	15	(注)
67	取組時－払出先預金種別	テキスト型	1	1	(注)
68	取組時－払出先預金口座番号	テキスト型	7	7	(注)
69	取組時－払出先預金者名	テキスト型	40	40	(注)
70	返済時－受入先店舗名	テキスト型	15	15	(注)
71	返済時－受入先預金種別	テキスト型	1	1	(注)
72	返済時－受入先預金口座番号	テキスト型	7	7	(注)
73	返済時－受入先預金者名	テキスト型	40	40	(注)
74	返済時－払出先店舗名	テキスト型	15	15	(注)
75	返済時－払出先預金種別	テキスト型	1	1	(注)
76	返済時－払出先預金口座番号	テキスト型	7	7	(注)
77	返済時－払出先預金者名	テキスト型	40	40	(注)
78	予備1	テキスト型	40	40	
79	予備2	テキスト型	40	40	
80	改行コード	テキスト型	2	2	CR/LF

(注) 項番 46～57、62～77 は、M/L 区分より判断される。

表4 出力ファイルフォーマット(資金情報データ)

No.	項目名	属性	桁数	バイト数	備 考
1	データ区分	数値型	1	1	3: 成立 9: 取消完了
2	受付番号	数値型	5	5	約定確認データのセリ付与の番号
3	約定日	日付型(日付)	10	10	
4	取引科目コード	数値型	3	3	約定確認データの取引科目
5	取引先コード	テキスト型	10	10	決済代行依頼先のコード
6	取引先名称	テキスト型	10	20	決済代行依頼先の名称
7	勘定口	テキスト型	4	4	約定確認データの勘定口
8	約定金額	数値型	7	7	単位：百万円
9	利息金額	数値型	10	10	単位：円 ｽｰﾄﾞ分は0をセット
10	元利合計額	数値型	13	13	単位：円
11	資金受渡日	日付型(日付)	10	10	ｽｰﾄﾞ日またはｲﾝﾄﾞ日
12	決済時間	日付型(時刻)	5	5	ｽｰﾄﾞまたはｲﾝﾄﾞの決済時間
13	入出金区分	数値型	1	1	0: 入金 1: 出金
14	相手・決済情報区分	数値型	1	1	
15	相手・決済日銀口座コード	テキスト型	7	7	
16	相手・決済日銀口座名称	テキスト型	15	30	
17	自己・決済情報区分	数値型	1	1	
18	自己・決済日銀口座コード	テキスト型	7	7	
19	自己・決済日銀口座名称	テキスト型	15	30	
20	約定確認時刻	日付型(時刻)	5	5	セリで付与
21	日銀決済口座区分(ｽｰﾄﾞ時)	数値型	1	1	
22	日銀決済口座区分(ｲﾝﾄﾞ時)	数値型	1	1	
23	相手・店舗名	テキスト型	15	15	
24	相手・預金種別	テキスト型	1	1	
25	相手・預金口座番号	テキスト型	7	7	
26	相手・預金者名	テキスト型	40	40	
27	自己・店舗名	テキスト型	15	15	
28	自己・預金種別	テキスト型	1	1	
29	自己・預金口座番号	テキスト型	7	7	
30	自己・預金者名	テキスト型	40	40	
31	予備1	テキスト型	40	40	
32	予備2	テキスト型	40	40	
33	改行コード	テキスト型	2	2	CR/LF

表5 出力ファイルフォーマット(一方通知データ)

No.	項目名	属性	桁数	バイト数	備考
1	端末機番	テキスト型	4	4	
2	一方通知種別	テキスト型	2	2	11: 約定確認通知 21: 約定確認成立通知 31: 約定確認不成立通知 41: 約定確認取消通知 53: 資金情報通知 63: 資金情報取消通知
3	取引科目コード	数値型	3	3	約定確認データの取引科目
4	受付番号	数値型	5	5	約定確認データの受付与の番号
5	整理番号	テキスト型	10	10	
6	M/L区分	数値型	1	1	0:指定なし 1:コールマネー(M)または出し手(出) 2:コールバック(L)または取り手(取)
(注) 7	受信時刻	日付型(時刻)	8	8	端末で付与
8	改行コード	テキスト型	2	2	CR/LF

※本ファイルについては機能追加による変更はありませんが、項目NO.7(注)の「受信時刻」(従来の項目名は「約定確認時刻」、桁数5、バイト数5)の記載内容が誤っておりましたので、項目名、桁数、バイト数を訂正させていただきます。

外部入出力項目一覧表

約定確認データ入出力フォーマット		ブローキック			ディールック			備考
NO	項目名	無担保 コール	有担保 (O/B)	日中コール	有担保 (O/B)	有担保 (気配値)	日中コール	
1	データ区分	○	○	○	○	○	○	
2	受付番号	○	○	○	○	○	○	
3	取引科目コード	○	○	○	○	○	○	
4	取扱短資整理番号	○	○	○	○	○	○	短資各社で管理している整理番号
5	取扱短資取引先コード	○	○	○	○	○	○	
6	取扱短資取引先名称	○	○	○	○	○	○	短資会社名称
7	備考コード	○	○	○	○	○	○	
8	約定日	○	○	○	○	○	○	YYYY/MM/DD西暦フォーマット
9	先日付区分コード	○	○	○	○	○	○	
10	取引種類区分コード	○	○	○	○	○	○	
11	スタート日	○	○	○	○	○	○	
12	エンド日	○	○	○	○	○	○	日中コールの場合は、スタート日と同一
13	日数	○	○	○	○	○	○	日中コールは0固定
14	実行決済時間	○	○	○	○	○	○	00:00から23:59までの時刻
15	期落決済時間	○	○	○	○	○	○	00:00から23:59までの時刻
16	M/L区分	○	○	○	○	○	○	1：マナー(出し手)、2：ローン(取り手)
17	約定金額	○	○	○	○	○	○	単位：百万円
18	(内部使用)							
19	サイン区分(相手)	○	○	○				
20	取引先コード(相手)	○	○	○	○			
21	取引先名称(相手)	○	○	○	○			取引相手先名称
22	勘定口(相手)	○	○	○	○			
23	利率(相手)							○ 固定
24	利息金額(相手)							○ 固定
25	元利合計額(相手)							○ 固定
26	手数料率(相手)							○ 固定
27	手数料額(相手)							○ 固定
28	割引率(相手)							○ 固定
29	割引額(相手)							○ 固定
30	割引後手数料額(相手)							○ 固定
31	消費税額等(相手)							○ 固定
32	(内部使用)							
33	サイン区分(自社)	○	○	○	○	○	○	0：未サイン、1：OK、2：NG
34	取引先コード(自社)	○	○	○	○	○	○	
35	取引先名称(自社)	○	○	○	○	○	○	
36	勘定口(自社)	○	○	○	○	○	○	
37	利率(自社)	○	○	○	○	○	○	
38	利息金額(自社)	○	○	○	○	○	○	
39	元利合計額(自社)	○	○	○	○	○	○	
40	手数料率(自社)	○	○	○				
41	手数料額(自社)	○	○	○				
42	割引率(自社)	○						
43	割引額(自社)	○						
44	割引後手数料額(自社)	○						
45	消費税額等(自社)	○	○	○				
46	取組時－受入先情報区分	○	○	○	○	○	○	
47	取組時－受入先日銀口座コード	○	○	○	○	○	○	
48	取組時－受入先日銀口座名称	○	○	○	○	○	○	
49	取組時－払出先情報区分	○	○	○	○	○	○	
50	取組時－払出先日銀口座コード	○	○	○	○	○	○	
51	取組時－払出先日銀口座名称	○	○	○	○	○	○	
52	返済時－受入先情報区分	○	○	○	○	○	○	
53	返済時－受入先日銀口座コード	○	○	○	○	○	○	
54	返済時－受入先日銀口座名称	○	○	○	○	○	○	
55	返済時－払出先情報区分	○	○	○	○	○	○	
56	返済時－払出先日銀口座コード	○	○	○	○	○	○	
57	返済時－払出先日銀口座名称	○	○	○	○	○	○	
58	約定確認時刻	○	○	○	○	○	○	
59	日銀決済口座区分(スタート時)	○	○	○	○	○	○	
60	日銀決済口座区分(エンド時)	○	○	○	○	○	○	

約定確認データ入出力フォーマット		フ リ-キ ャ			デ ィ-リ ャ			備考	
NO	項 目 名	コ ー ル	無 担 保 ○ ○	有 担 保 ○ ○	日 中 コ ー ル ○ ○	有 担 保 (気 配 値) ○ ○	有 担 保 ○ ○	日 中 コ ー ル	
61	手形発行区分	○	○	○	○	○	○	○	日中コールは2固定
62	取組時一受入先店舗名	○	○	○	○	○	○	○	
63	取組時一受入先預金種別	○	○	○	○	○	○	○	
64	取組時一受入先預金口座番号	○	○	○	○	○	○	○	
65	取組時一受入先預金者名	○	○	○	○	○	○	○	
66	取組時一払出先店舗名	○	○	○	○	○	○	○	
67	取組時一払出先預金種別	○	○	○	○	○	○	○	
68	取組時一払出先預金口座番号	○	○	○	○	○	○	○	
69	取組時一払出先預金者名	○	○	○	○	○	○	○	
70	返済時一受入先店舗名	○	○	○	○	○	○	○	
71	返済時一受入先預金種別	○	○	○	○	○	○	○	
72	返済時一受入先預金口座番号	○	○	○	○	○	○	○	
73	返済時一受入先預金者名	○	○	○	○	○	○	○	
74	返済時一払出先店舗名	○	○	○	○	○	○	○	
75	返済時一払出先預金種別	○	○	○	○	○	○	○	
76	返済時一払出先預金口座番号	○	○	○	○	○	○	○	
77	返済時一払出先預金者名	○	○	○	○	○	○	○	
78	予備1	○	○	○	○	○	○	○	
79	予備2	○	○	○	○	○	○	○	
80	改行コード	○	○	○	○	○	○	○	CR/LF文字

○印がデータセットされる項目である。

コード表及び区分

1. データ区分（サイン入力についてのデータ処理状況を識別する）

桁数	コード	データのステータス区分
1	0	未サイン
	1	サイン送信済
	3	成立
	4	不成立
	9	取消完了

2. 受付番号（センタが付番する約定毎の連続番号）

桁数	付与基準
5	センタが付与する受付一連通番

3. 取引科目コード（当システムでの取引対象の取引科目を識別する）

桁数	コード	取引科目
3	1 1 1	無担保コール
	1 1 2	有担保コール（O/B）（フローキング）
	1 1 4	日中コール（フローキング）
	1 2 1	有担保コール（O/B）（ディーリング）
	1 2 2	有担保コール（気配値）
	1 2 4	日中コール（ディーリング）

4. 取引先コード

(10桁構成：ユーザ区分1桁、金融機関コード5桁、細目コード4桁の構成で識別する)

項目	桁数	コード	適用	適用内容
ユーザ区分	1	0	通常端末	
		1~7 (*1)	協会で設定	ユーザ端末の追加区分
		8	信託端末	投信約定成立内容の受信端末区分
		9	試験端末	開発・試験用端末区分
金融機関コード	5	00000~99999 (*2)	金融機関コード	全銀コード・日銀コードに準拠する。 上記に該当しない先は短資協会が付番する。
細目コード	4	0000	初期設定値	
		0001~ (*3)	協会で設定	
		6000~6199	投信先コード	投信金融機関コードの下4桁と同一番号

- *1 ユーザ区分を追加で設定する場合は、「1」からの連番とする。
ユーザ区分を追加で設定する具体例：本支店等で約定確認サイン入力端末を使用する先。
ユーザ区分を追加で設定した場合、同一金融機関であっても別ユーザ扱いとなり、お互いの約定内容を見ることはできない。
ユーザ区分の追加設定に関しては、設定項目を短資協会に申請し、短資協会が付番し設定する。
(注) ユーザ区分を追加した場合は、区分毎に約定確認サイン入力端末が必要となる。
- *2 全銀コードの冒頭に「0」を付す。投信コードに関しては、全銀コード・日銀コードに設定がないため、「06000~06199」を投信コードとし、原則投信協会の配列順とする。
- *3 細目コードを設定した場合は、「0001」からの連番とする。
細目コードを追加で設定する具体例：勘定口等。
細目コードの設定に関しては、設定項目を短資協会に申請し、短資協会が付番する。

5. 接続者コード

(6桁構成：ユーザ区分1桁、金融機関コード5桁の構成、接続先を識別する)

桁数	摘要内容
6	取引先コードのユーザ区分、金融機関コードの構成

6. 先日付区分コード（先日付を識別する）

桁数	コード	先日付区分
1	0	当日物（C）
	1	トモロウ物（T）
	2	スポット物（S）
	3	オッドスタート物（O）

7. 取引種類区分コード（取引種類を識別する）

桁数	コード	取引種類区分
2	00	日中コール（非表示）
	01	O/N（オーバーナイト物）または翌日物
	02	2Dまたは二日物
	03	3Dまたは三日物
	04	4Dまたは四日物
	05	5Dまたは五日物
	06	6Dまたは六日物
	07	1Wまたは一週間物
	08	2Wまたは二週間物
	09	3Wまたは三週間物
	10	1Mまたは一ヶ月物
	11	2Mまたは二ヶ月物
	12	3Mまたは三ヶ月物
	13	4Mまたは四ヶ月物
	14	5Mまたは五ヶ月物
	15	6Mまたは六ヶ月物
	16	7Mまたは七ヶ月物
	17	8Mまたは八ヶ月物
	18	9Mまたは九ヶ月物
	19	10Mまたは十ヶ月物
	20	11Mまたは十一ヶ月物
21	1Yまたは一年物	

8. M/L区分

(コールマネーまたは出し手、コールローンまたは取り手の区分を識別する)

桁数	コード	M/L区分
1	0	指定なし
	1	コールマネー (M) または出し手 (出)
	2	コールローン (L) または取り手 (取)

9. サイン区分 (約定確認サイン入力状況を識別する)

桁数	コード	サイン区分
1	0	未サイン
	1	OK
	2	NG

10. 決済情報区分 (決済情報を識別する)

桁数	コード	決済情報区分
1	0	日銀ネット振替
	1~3	その他利用
	1	日銀ネット付記電文振替 (決済情報通知)
	2	日銀ネット付記電文振替 (決済情報通知せず)
	3	日銀ネット短資口座振替
9	未設定状態を表す	

(注) 区分0または9は参加者の端末使用区分によりセンタで設定される値である。

9 (未設定) は、約定確認サイン入力の際に1~3の値が設定される。

11. 決済日銀口座コード (日銀ネット当座預金口座番号を識別する)

桁数	決済日銀口座コード
7	日銀ネット当座預金口座番号を表す。 取組時/返済時には、各々の受入先日銀口座コード、払出先日銀口座コードを表す。

12. 入出金区分

桁数	コード	入出金区分
1	0	入金
	1	出金

13. 日銀決済口座区分 (スタート時・エンド時)

桁数	コード	日銀決済口座区分
1	0	当座勘定 (同時決済口)
	1	当座勘定

14. 手形発行区分

桁数	コード	手形発行区分
1	0	有
	1	無
	2	指定なし

ファイル例

下記の条件において、ファイル例を示します。

例 1

約定日：2007年06月04日
スタート日：2007年06月04日
実行決済時間：10:00
エンド日：2007年06月05日
期落決済時間：10:00
取引科目：無担保コール
取引種類区分：O/N
約定金額：50億円
利率：0.5%

資金出し手取引先コード：0-00000-0000
資金出し手取引先名称：AAAA銀行
資金出し手日銀口座コード：0000-001
資金出し手日銀口座名称：AAAA銀行本店

資金取り手取引先コード：0-01111-0000
資金取り手取引先名称：BBBB銀行
資金取り手日銀口座コード：1111-001
資金取り手日銀口座名称：BBBB銀行本店

取扱短資取引先コード：0-09999-0000
取扱短資取引先名称：C短資
手数料率：0.02%
割引率：0%
消費税額等：5%

日銀決済口座区分（スタート時）：当座勘定（同時決済口）
日銀決済口座区分（エンド時）：当座勘定（同時決済口）
手形発行区分：無

この時、短資の約定確認データ入力時に送られてくるファイルは下記のようになります。

ファイル例 01：約定確認データ入力時(資金出し手)

```
0,00001,111,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,1,5000,0,0,"0011110000","B B B B銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,"0000000000","A A A A銀行",0,5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,2739,136,0,"1111001","B B B B銀行本店",0,"0000001","A A A A銀行本店",0,"0000001","A A A A銀行本店",0,"1111001","B B B B銀行本店",0,0,1,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

ファイル例 02：約定確認データ入力時(資金取り手)

```
0,00001,111,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,2,5000,0,0,"0000000000","A A A A銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,"0011110000","B B B B銀行",0,5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,2739,136,0,"1111001","B B B B銀行本店",0,"0000001","A A A A銀行本店",0,"0000001","A A A A銀行本店",0,"1111001","B B B B銀行本店",0,0,1,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

ここで、約定確認サイン・データを自社・自行から送る場合はサイン区分のみを変更してください。
サイン区分の場所はイタリック体で示してあります。

ファイル例 03：資金出し手の約定確認サイン入力時（OKサイン送信前）

```
0,00001,111,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,1,5000,0,0,"0011110000","B B B B銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,1,"0000000000","A A A A銀行",0,5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,2739,136,0,"1111001","B B B B銀行本店",0,"0000001","A A A A銀行本店",0,"0000001","A A A A銀行本店",0,"1111001","B B B B銀行本店",0,0,1,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

ファイル例 04：資金取り手の約定確認サイン入力時（NGサイン送信前）

```
0,00001,111,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,2,5000,0,0,"0000000000","A A A A銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,2,"0011110000","B B B B銀行",0,5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,2739,136,0,"1111001","B B B B銀行本店",0,"0000001","A A A A銀行本店",0,"0000001","A A A A銀行本店",0,"1111001","B B B B銀行本店",0,0,1,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

この状態だと不成立になるので受信ファイルは下記のようになります。不成立の場合、イタリック体で示されたデータ区分とサイン区分で判断できます。

ファイル例 05：資金出し手の不成立受信ファイル

```
400001,111,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,1,5000,0,2,"0011110000","BBBB銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,1,"0000000000","AAA銀行",0.5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,2739,136,0,"1111001","BBBB銀行本店",0,"0000001","AAA銀行本店",0,"0000001","AAA銀行本店",0,"1111001","BBBB銀行本店",0,0,1,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

ファイル例 06：資金取り手の不成立受信ファイル

```
400001,111,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,2,5000,0,1,"0000000000","AAA銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,2,"0011110000","BBBB銀行",0.5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,2739,136,0,"1111001","BBBB銀行本店",0,"0000001","AAA銀行本店",0,"0000001","AAA銀行本店",0,"1111001","BBBB銀行本店",0,0,1,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

もしも、ファイル例 04 でBBBB銀行がOKサインを行った場合には下記の受信ファイルとなります。この場合も、イタリック体で示されたデータ区分とサイン区分で判断できます。

ファイル例 07：資金出し手の受信ファイル

```
300001,111,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,1,5000,0,1,"0011110000","BBBB銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,1,"0000000000","AAA銀行",0.5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,2739,136,0,"1111001","BBBB銀行本店",0,"0000001","AAA銀行本店",0,"0000001","AAA銀行本店",0,"1111001","BBBB銀行本店",09:34,0,0,1,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

ファイル例 08：資金取り手の受信ファイル

```
300001,111,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,2,5000,0,1,"0000000000","AAA銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,1,"0011110000","BBBB銀行",0.5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,2739,136,0,"1111001","BBBB銀行本店",0,"0000001","AAA銀行本店",0,"0000001","AAA銀行本店",0,"1111001","BBBB銀行本店",09:34,0,0,1,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

例 2

約定日：2007年06月04日

スタート日：2007年06月04日

実行決済時間：10：00

エンド日：2007年06月05日

期落決済時間：10：00

取引科目：有担保コール（O/B）（ブローキング）

取引種類区分：翌日物

約定金額：50億円

利率：0.5%

資金出し手取引先コード：0-00000-0000（非当預先）

資金出し手取引先名称：約定確認生命保険

資金出し手日銀口座コード：0000-001

資金出し手日銀口座名称：ZZZZ銀行大阪支店

店舗名：材カテ

預金種別：当座

預金口座番号：1234567

預金者名：マツヨリカニセイメイカテ

資金取り手取引先コード：0-01111-0000

資金取り手取引先名称：BBBB銀行

資金取り手日銀口座コード：1111-001

資金取り手日銀口座名称：BBBB銀行本店

取扱短資取引先コード：0-09999-0000

取扱短資取引先名称：C短資

手数料率：0.02%

消費税額等：5%

日銀決済口座区分（スタート時）：当座勘定（同時決済口）

日銀決済口座区分（エンド時）：当座勘定（同時決済口）

手形発行区分：有

この時、短資の約定確認データ入力時に送られてくるファイルは下記のようになります。

ファイル例 09：約定確認データ入力時(資金出し手)

```
0,00001,112,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,1,5000,0,0,"0011110000","B B B B銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,"0000000000","約定確認生命保険",0.5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,0,136,0,"1111001","B B B B銀行本店",9,,9,,0,"1111001","B B B B銀行本店",0,0,0,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

ファイル例 10：約定確認データ入力時(資金取り手)

```
0,00001,112,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,2,5000,0,0,"0000000000","約定確認生命保険",0,0,0,0,0,0,0,0,0,"0011110000","B B B B銀行",0.5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,0,136,0,"1111001","B B B B銀行本店",9,,9,,0,"1111001","B B B B銀行本店",0,0,0,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

ここで、約定確認サイン・データを自社・自行から送る場合はサイン区分を変更してください。

サイン区分の場所はイタリック体で示してあります。

また、非当預の場合は決済情報区分、日銀口座コード、店舗名・預金種別・預金口座番号・預金者名を設定してください。

ファイル例 11：資金出し手の約定確認サイン入力時（OKサイン送信前）

```
0,00001,112,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,1,5000,0,0,"0011110000","B B B B銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,1,"0000000000","約定確認生命保険",0.5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,0,136,0,"1111001","B B B B銀行本店",2,"0000001",2,"0000001",0,"1111001","B B B B銀行本店",0,0,0,,,"オカカテ",,"ト",,"1234567",,"ヤヅ ヨカニヒメイホカガ 注ガ イヤ",,"オカカテ",,"ト",,"1234567",,"ヤヅ ヨカニヒメイホカガ 注ガ イヤ",,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

ファイル例 12：資金取り手の約定確認サイン入力時（NGサイン送信前）

```
0,00001,112,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,2,5000,0,0,"0000000000","約定確認生命保険",0,0,0,0,0,0,0,0,0,2,"0011110000","B B B B銀行",0.5,68493,5000068493,0.02,2739,0,0,0,136,0,"1111001","B B B B銀行本店",9,,9,,0,"1111001","B B B B銀行本店",0,0,0,,,,,,,,,,,,,[CR/LF]
[EOF]
```

この状態だと不成立になるので受信ファイルは下記のようになります。不成立の場合、イタリック体で示されたデータ区分とサイン区分で判断できます。

ファイル例 13：資金出し手の不成立受信ファイル

```
4,00001,112,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,1,5000,0,2,"0011110000","BBBB銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,1,"0000000000","約定確認生命保険",0,5,68493,5000068493,0,02,2739,0,0,0,136,0,"1111001","BBBB銀行本店",2,"0000001","ZZZZ銀行大阪支店",2,"0000001","ZZZZ銀行大阪支店",0,"1111001","BBBB銀行本店",0,0,0,,,,,"オカサテ",,"ト",,"1234567","ヤヅ ヨカニヒメイホカフ シガ イヤ","オカサテ",,"ト",,"1234567","ヤヅ ヨカニヒメイホカフ シガ イヤ",,,,,[CR/LF][EOF]
```

ファイル例 14：資金取り手の不成立受信ファイル

```
4,00001,112,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,2,5000,0,1,"0000000000","約定確認生命保険",0,0,0,0,0,0,0,0,0,2,"0011110000","BBBB銀行",0,5,68493,5000068493,0,02,2739,0,0,0,136,0,"1111001","BBBB銀行本店",2,"0000001","ZZZZ銀行大阪支店",2,"0000001","ZZZZ銀行大阪支店",0,"1111001","BBBB銀行本店",0,0,0,,,,,"オカサテ",,"ト",,"1234567","ヤヅ ヨカニヒメイホカフ シガ イヤ","オカサテ",,"ト",,"1234567","ヤヅ ヨカニヒメイホカフ シガ イヤ",,,,,[CR/LF][EOF]
```

もしも、ファイル例 12でBBBB銀行がOKサインを行った場合には下記の受信ファイルとなります。この場合も、イタリック体で示されたデータ区分とサイン区分で判断できます。

ファイル例 15：資金出し手の受信ファイル

```
3,00001,112,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,1,5000,0,1,"0011110000","BBBB銀行",0,0,0,0,0,0,0,0,0,1,"0000000000","約定確認生命保険",0,5,68493,5000068493,0,02,2739,0,0,0,136,0,"1111001","BBBB銀行本店",2,"0000001","ZZZZ銀行大阪支店",2,"0000001","ZZZZ銀行大阪支店",0,"1111001","BBBB銀行本店",09:34,0,0,0,,,,,"オカサテ",,"ト",,"1234567","ヤヅ ヨカニヒメイホカフ シガ イヤ","オカサテ",,"ト",,"1234567","ヤヅ ヨカニヒメイホカフ シガ イヤ",,,,,[CR/LF][EOF]
```

ファイル例 16：資金取り手の受信ファイル

```
3,00001,112,"AA 00001","0099990000","C短資",0,2007/06/04,0,"01",2007/06/04,2007/06/05,1,10:00,10:00,2,5000,0,1,"0000000000","約定確認生命保険",0,0,0,0,0,0,0,0,0,1,"0011110000","BBBB銀行",0,5,68493,5000068493,0,02,2739,0,0,0,136,0,"1111001","BBBB銀行本店",2,"0000001","ZZZZ銀行大阪支店",2,"0000001","ZZZZ銀行大阪支店",0,"1111001","BBBB銀行本店",09:34,0,0,0,,,,,"オカサテ",,"ト",,"1234567","ヤヅ ヨカニヒメイホカフ シガ イヤ","オカサテ",,"ト",,"1234567","ヤヅ ヨカニヒメイホカフ シガ イヤ",,,,,[CR/LF][EOF]
```

なお、[CR/LF]および[EOF]は制御コードなのでメモ帳などでは見えません。通常、メモ帳などで編集を行った場合、改行時に[CR/LF]、ファイルの一番後に[EOF]が挿入されます。

資金情報データのサンプル

出金

3,81,2007/06/04,111,"9082110001","01県信連1"
,,5000,0,5000000000,2007/06/04,11:00,1,0,"0021999","01試験銀行口座1"
,1,"8000991","ト012345601AAキソウホテゾ,13:48,0,1,"ニツチ","ト","1234567"
,"AAクマイ","ヒカソウチ","ト","7654321","BBクマイ",,

入金

3,81,2007/06/04,111,"9082110001","01県信連1"
,,5000,4109,5000004109,2007/06/05,10:00,0,0,"0021999","01試験銀行口座1"
,1,"8000991","ト012345601AAキソウホテゾ,13:48,0,1,"ニツチ","ト","1234567"
,"AAクマイ","ヒカソウチ","ト","7654321","BBクマイ",,

上記のようにスタート分・エンド分の2レコードが出力されます。
スタート分は利息金額の項目は0がセットされています。

一方通知データのサンプル

成立の場合

"0101","21",111,00005,"9999001",0,11:40:00

不成立の場合

"0101","31",111,00007,"9999002",0,11:45:00

一方通知データは自動転送機能を使用することにより自社・自行システム側にデータとして取り込むことが可能となります。

制限事項

次のような場合はエラーとしデータファイルの入力は行われません。ご了承ください。

1. ファイルフォーマット形式の不一致
2. 項目属性形式の不一致
3. 数値項目の桁数がオーバーフローしている場合
4. コード区分等で存在しないコードをセットしている場合

次のような場合はエラーとし先頭から該当桁数のみ処理され残りの部分は切り捨てられます。

1. テキスト型項目において桁数がオーバーフローしている場合